

2023-2024

## 理事通信

<https://ys-east.or.jp>

23年6月 理事就任式の際

## 理事メッセージ

23-24 東日本区理事 山田 公平

## ワイズに変化を

今期の東日本区のワイズ運動に変化を生み出しませんか？

1メンバーとして、クラブとして、できることを一緒にしていきましょう！

ワイズにどんな変化が必要か、何に関心があるか、それぞれの想いや願いに応じて、ワイズの一員として自分にできること、やってみたいことに取り組んでください。そんな形でこの1年でやってみましょう。それがワイズに変化を生み出すことになるでしょう。

この1年で私が目標にしたいことを紹介します。第1の目標として、ぜひ取り組みたいことはユース

アクションの拡がりをもたらすことです。

理事主題として挙げた言葉は、

**未来のために今、学びと気づきを！未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！**

これは一体何を言いたいのかと思われるでしょう。ユースは、高校生から35才位までの人たちを指していますが、この世代は、学校、進学、部活、就職、そして仕事に入れば、競争の中で切磋琢磨を求められています。一方、いわゆるZ世代と言われる高校生ぐらいから25歳ぐらいまでの人たちは、進学や仕事での成功も大切ですが、何か意味のあることに関心を示す、実行するタイプの人たちが多い世代と言われています。昨年の4月から今年の1月まで、ワイズとYMCAが協働で始めた第1回ユースアクションは、この世代の人たち自身に何ができるかを考えてもらい、それを実施できる機会を提供するというものでした。助成金を出すことで、何か社

## contents

・理事メッセージ	1	・入会者	5
・今年度（2023-24年度）の具体的な目標	2	・JEF 献金者	5
・具体的なかわり方とかかわり方に関する相談	4	・エルマー・クロウ賞受賞者発表	5
・今後の予定	4	・ブースター賞受賞者発表	5

2023年7月15日発行

会のためにやりたいことを考え始め、それが様々な取り組みを生み出してきたと言えます。その活動報告を聴いて感じるものが私の示している理事主題の言葉です。まさにユースアクションの目的は、この若い世代の人たちが達成感と今までとは違った心の喜び（満足感）を感じたことではないでしょうか。

ワイズやYMCAには、「未来のために今、学びと気づきを！」を提供できているかが問われます。そして若者自身が何か社会のために取り組みながら、「未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」ということを感じたか問われています。彼らの報告やどの言葉や表情を通して確かに手ごたえを感じ、今までにない他者のために役だっている自分の新しい達成感、喜びに出合った体験になったのだと感ずることができました。この感覚をユースの言葉や表現から感じられるかがユースアクションの評価のポイントだと思います。



東日本区大会での様子

## 今年度（2023-24年度）の具体的目標

ここでは今年度のワイズ東日本区でやってみたい8項目の具体的目標を挙げています。これを読んで、ワイズの一員として個人的にやってみたいことがありますでしょうか？ほかのクラブの人たちと一緒に、あるいはクラブの目標としてやろうということになれば、ワイズに新しい力と意味を生み出すことになります。ご検討ください。もちろん、各クラブで目標を挙げて、自ら取り組んでもらいたいと願っています。これらの8つの目標は、今年度の理事の願いであり、これから一つひとつの目標にどう向かっていくか、検討をし、皆さんの参画を求めていきたいと願っています。

## 目標1. ユースアクションをワイズの看板に

今年は秋（9月～11月）にオリエンテーションや社会問題を考える研修会をしようと考えています。募集要項などをその時に発表しようと思います。来春（2024年1月～2月）にプロジェクト募集をし、実際のアクションが始まるのは来年の学校年度が始まる4月か5月からとなるでしょう。東西日本区協働で行うことになるので、昨年同様に全国で10のプロジェクトを選考することになります。昨年は、10プロジェクトに助成金を提供しました。このプロジェクトは主に2024年5月から25年度2月までの実施ということになってきますが、その準備段階を今年度に行いますのでワイズの年度にすると2年がかりのプロジェクトになります。YMCAのユースだけに限らず、学校や他の団体のユースのグループも助成対象になります。

## 目標2. 東日本区独自の

### ユースアクションの展開を

2024年度は、特別に数か所のユースアクションを東日本区で独自に行います。北海道部には3つのクラブがありますが、その中でいくつかのクラブとYMCAでユースアクションに取り組みたいと計画しています。参加するユースの変化や喜びを少しでも多くの地域で感じてもらいたいです。2024年6月1日は東日本区大会を北海道帯広で行います。その時の目玉としてユースアクション北海道版の報告と協議をしてもらいたいです。また、学生YMCA、通称「学Y」との関係も強化できればと考えています。ユースアクションを通して学Yとの関係を築きあげるきっかけになることを望んでいます。



第27回東日本区大会の告知

2023年7月15日発行

### 目標3. 福島県と長野県に YMCA を

福島県や長野県には YMCA がありません。長野クラブは、「長野に YMCA を」という願いを持ち 2010 年に設立されました。今ワイズがある長野市や松本市で YMCA 運動を興す、そんな働きを支えるワイズを強化するという当初の目的を、この年に目指せないか検討をしようということです。YMCA をといても、会館を持つことや専属のスタッフを置くということではなく、富士山部で独自に行っていることも参考にしながら、地域のニーズを知ったうえで運動を興していくというのはどうでしょうか。それは富士山部の多くのワイズがしているように子どもたちの活動の場作りかも知れません。松本クラブでは、留学生を支援する場として日本語スピーチコンテストを続けてきました。この延長の活動も考えられます。あるいは障がいを持つ人たちへの支援の場かも知れません。この地域のクラブ、知り合いのいる方、関心のある方に呼び掛け、一緒に話し合い、地元の関心を生み出す講演会や話し合いの機会を設けていきます。2年3年かけて徐々に進めるのはどうでしょうか。かつては新潟にも YMCA をという願いがあり、ワイズが結成されたこともありましたが、可能性があれば、各地に拡げることも検討したいところです。

### 目標4. クラブライフを楽しく、

#### 意味あるものにしていくとは何か？

それぞれのクラブでクラブライフをさらに楽しくする、クラブのカラーを見出していき、クラブが目指すものを分かりやすくする、そしてそこに人を誘えるようにする、それがクラブライフをより良くする発想の原点かも知れません。「それをするために何ができるか」を考え実行する一年にしたいと思います。クラブの人たちが集まり、話し合い、実行していく、そんな取り組みをやってみませんか？ 例えば、3か月に1回でも面白いテーマで講演会を実施する。そのために、小さいクラブだけではなく、近隣のクラブと合同例会にして、講演会を実施し、そこからこの1年にできることを検討していくのはいかがでしょうか。



バナーセレモニー（23年6月）

### 目標5. 地域での活動、国内での

#### 活動を充実したものにするため

今年目標の中に、ユースアクション、ワイズのエクステンション、クラブライフの充実への取り組み、ユースインターン制度(iGo)、あるいは国内外のクラブとの交流や応援など、ワイズの活動をより良く、より意味のある形にするためには資金が必要です。資金集めをしっかりとる、献金の在り方も見直します。支えたい活動やクラブで取り組みたい活動があれば、それに必要な資金を集める工夫をしていくことが大切です。応援できるところに資金面で応援するという活動です。ユースアクションはその典型的な例です。それを可能にする仕組みをクラブで考える、さらには今までしてきた献金活動をもう一度見直し、クラブライフをより意味あるものにしていきましょう。資金集めの充実がクラブ単位で、地域で、YMCA との協働事業で、さらには全国で展開する活動のために必要となります。これまでの献金制度も含め、協議を進めていきたいと考えています。

### 目標6. 国際・交流活動の具体的

#### 展開の一步を

ワイズの国際活動にはBF（訪問を通してのフェロシップを）、TOF（貧困などの解消プロジェクトを支える）、交流活動としてIBC（海外のクラブと関係強化）などがあります。この国際的関係をより身近に感じる形になる仕組みを作る必要を感じています。例えば、ある特定の国のクラブYMCAと組んで一緒にTOF（Time of Fast）のプロジェクトを作り、そのクラブやYMCAとBF（Building Fellowship）で人の派遣や現地のワイズメンを招いたりもできます。それがIBC（International Brother Club）となって交流や協力を継続的にすることもできます。

2023年7月15日発行

国際活動はワイズの特徴となりうる活動ですが、世界的組織としての特典を日本のワイズの人たちが身近に感じる仕組みを作れないでしょうか？

## 具体的なかかわり方とかかわり方に

### 関する相談

#### 目標 1. ユースアクション全国版

タスクチームを作り、各地のユースグループ（YMCA ユース、学校、学生 YMCA, その他のサークルなど）へのプロジェクト参加募集をします。自分の地域のユースにこの事業を紹介したり、知っているユースグループに声をかけたり、話し合いをしたりしてください。

#### 目標 2. ユースアクション北海道、学生 YMCA 版

上のかかわり方と同様ですが、特別に北海道での2つか3つのYMCA（クラブ）で出来る事を検討したり、応援したりする人々を求めています。さらに、いくつかの学Yにも声をかけてください。



東日本区大会にて報告したユース達

#### 目標 3. 福島市、長野市、松本市などに YMCA を

これらの都市に YMCA 活動をということに関心のある人を紹介してください。これらの地域の活動に関わりたい人もぜひ。

#### 目標 4. クラブライフを良くする工夫を

これは各クラブで工夫して、部で意見交換をし、新しい取り組みなどを分かち合ってください。いくつかのクラブが協力して一つの活動を生み出す工夫など、話し合ってください。

#### 目標 5. ファンドレイジング強化

ユースアクションなど具体的な活動を支えるファンドレイジングを区レベルで、そして各クラブでもぜひ進めてください。

#### 目標 6. 国際・交流事業の具体的展開を

主に国際・交流事業委員会で検討をし、クラブや個人で関心のある人たちがかかわる仕組みを作れたらと思います。関心ある方、具体的な提案をぜひ。

#### 目標 7. ユースインターンシップ(iGo)の具体化を

関心のある人たちが、タスクチームを組んでいくつかの事例を生み出せればと思います。関心のある方、受け入れ可能なクラブやYMCA、歓迎です。

#### 目標 8. 将来構想検討チーム

ワイズの未来（10年後の姿）を考えたい方、アイデアを持っている方、こんなことができないかと思う方、ぜひこのチームにご参加ください。関心ある方は、まとめ役の田中博之ワイズ（東京多摩スマイルクラブ）へ8月末までにご連絡ください。

### 今後の予定

7月31日

前期区費請求書発行(8/15納付締切)

8月3日

臨時役員会(文書等8/12投票締切)

8月13日

臨時代議員会(文書等8/26投票締切)

8月26日

北海道部部大会

8月26～29日

AYC(カトマンズ)

9月2日

北東部部大会(福島)

9月29日～10月1日

YVLF(山中湖センター)

2023年7月15日発行

## ☆入会者一覧

2023年7月1日現在

	入会日	部	クラブ	入会者	紹介者・他
6月	6月10日	北東部	もりおか	福井 誠司	加藤 淳
	6月10日	北東部	もりおか	水田 賢次	濱塚 有史
	6月28日	湘南・沖縄部	厚木	長本 真穂	小松 仲史
	6月28日	湘南・沖縄部	厚木	菊地 節子	小松 仲史
	6月28日	湘南・沖縄部	厚木	杉村 真知子	佐藤 節子
7月	7月1日	関東東部	所沢	坂本 憲枝	大澤 和子、 東 裕二
	7月1日	東新部	東京むかで	堀口 廣司	神保 伊和雄
	7月1日	富士山部	熱海グローリー	神杉 彰	勝又 隆吉

## ☆JEF 献金

6月末まで

	献金日	献金者	クラブ	金額
6月	6月5日	6/3 東日本区大会礼拝献金		170,000
	6月5日	東京北		100,000
	6月16日	佐藤重良	甲府 21	50,000

※理事通信は理事メッセージを中心に、奇数月の15日頃に発行する予定です。

## エルマー・クロウ賞およびブースター賞受賞者発表

7月末にアフリカで行われた国際議会で国際協会からの2022-23年度表彰が発表されました。今回、東日本区からの表彰をお知らせします。

エルマー・クロウ賞 2022-23年度中に特に傑出した働きをした部長に充てられる国際賞で、区理事が評価基準に基づいて地域会長（アジア太平洋地域）に推薦し、国際会長が最終決定をしました。その名誉ある賞に東日本区から2名が受賞しました。

2022-23年度東新部部長 深尾 香子さん（東京多摩スマイルクラブ）

2022-23年度あずさ部部長 後藤 明久さん（富士五湖クラブ）

おめでとうございます。

さらに、ブースター賞として会員増強の功績に対して国際協会から授与される賞で、2022年2月1日から2023年1月31日までの1年間に3人以上の新入会員を紹介した個人に表彰されます。今回東日本区から次の3人の方々が受賞しました。

藤原 一正さん（甲府やまなみクラブ）

仙洞田 安宏さん（甲府やまなみクラブ）

大澤 和子さん（所沢クラブ）

おめでとうございます。